

令和2年5月14日

東広島市  
こども未来部  
上田部長様

ブランコの存続を願う会  
代表者 三堤 暁子



先日は面談の機会を設けていただきありがとうございました。

この書面は以下の3点の趣旨でお送りさせていただきます。

- ①面談の際に部長様より頂いた質問に対する返答・・・p2～
- ②第2期東広島市子ども・子育て支援事業計画の中で計画されている子育てを総合的に支援するための拠点、についての提言・・・p5～
- ③結論・お願い・・・p7

## 【面談の際に部長様より頂いた質問に対する返答】

### 質問

いきいき子どもクラブ（以下いきいき）がある中で、それでも小学生の居場所としてブランコ機能が必要な理由とは？

### 返答（ポイントは2点あります）

ポイント1: いきいきとブランコ機能には相互に代替性はない

いきいき子どもクラブは名称がクラブですが、実質的な機能は学童にあたり、

- ・利用者は自宅ですごすことが難しい家庭の児童に限られる（親の就労の有無など。また学校によっては抽選のケースもある）

- ・基本的には有料である

- ・学校の延長のような雰囲気があるためストレスを感じている児童が多いとの声がある

- ・小学生4年生くらいになると、家庭で過ごすように暗に促させられる雰囲気がある

という現状及び問題点があります。一方で、ブランコは、

《すべての児童が、無料で、なにもなくても立ち寄れる、学校や家庭とは別の居場所兼コミュニティー》

として機能しておりました。その点からいきいきのような

《限られた対象児童のみを親の就労時間中にあずかる》

学童機能とは異なりますので、その2機能には相互に代替性は無いと考えています。

以上の理由から、いきいき子どもクラブがあつたとしても、小学生の居場所としてブランコ機能が必要だと考えます。

## ポイント 2 : 長期休暇中や外遊びがしにくい天候が続く季節における 家庭の負担削減

学校の長期休暇や、外遊びがしにくい天候の日が続く季節において、ブランコのような児童館機能を持ち、なおかつ気候や天気にかかわらず安心して遊べる場所がなければ、子供、そしてその保護者両方にとってその日々を過ごすこと自体が生活上の大きな負担となり得ます。

特に、ほかにこどもの遊び場の少ない西条地区に住む子供にとってはなおさら、その負担は大きくなります。

親の疲れを癒し、子供の心もいやす、そのための児童館機能は子育て支援として不可欠と考えています。

---

### 質問

3-5 歳児には幼稚園があるし、下のきょうだい居れば新ゆめもくばを利用できる中で、ブランコ機能が必要な理由とは？

### 返答

主に以下の 3 点としてブランコ機能が必要な理由があげられます。

- ・ 様々な事情により幼稚園に通っていない子供にも居場所が必要
- ・ 下のきょうだいのいない幼児は降園後に気軽に利用できない。
- ・ 上の子が発散できない、保護者も安心して遊ばせられない、という理由からきょうだいを持つ保護者は旧ゆめもくばの利用を避けブランコを利用していたという背景がある。

以上の理由から新ゆめもくばの体制は 3-5 歳児やその保護者にとっては支援の打ち切りと同じ意味合いを持つものと考えられます。

## 質問

第2期東広島市子ども・子育て支援事業計画の中で計画されている、子育てを総合的に支援するための拠点にて駐車場の設備がもし充実できなくても大丈夫か？

## 返答

駐車場の設備が充実できなくても、西条駅からの徒歩圏内に新たな施設を設けていただきたいです。

理由は、以下の3点

- ・車のある人はその他の子育て支援施設を利用できますが、そうではない人は、駅から徒歩圏内に施設がないと、どこも利用することはできない
- ・駅からも徒歩圏内でしたら、遠くに住んでいる車の使えない人でもバスにて利用できる可能性が高くなります。
- ・駅前には市営のパーキングや有料パーキングなど車の止められる場所があります。

以上の意味から、たとえ駐車場を充実させることができないにしても、西条駅徒歩圏内に新施設を設けることが、全体への公平にもつながると考えます。

# 【第2期東広島市子ども・子育て支援事業計画の中で計画されている子育てを総合的に支援するための拠点、についての提言】

## 提言の内容

新たな総合的な子育て支援施設の支援範囲に三歳児～小学生も含んでいただき、また、場所は西条駅からの徒歩圏内に建設する事が、利用者にとって一番利用しやすい環境となります。

小学生も支援範囲に含めることが得策と私たちが考える理由は上記のいきいきこどもクラブ（以下いきいき）がある中で、それでも小学生の居場所としてブランコ機能が必要な理由とは？の返答にて代えさせていただきます。

3歳児～5歳児については上記の返答と被るところもありますが、

<https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/kodomomirai/1/6/21352.html>

上記 URL で掲示されている『子ども・子育て支援に関するニーズ調査』結果からみても3歳児～5歳児の子育て支援施設が西条駅徒歩圏内に必要と思われれます。

理由は以下の3点です。

### 理由 1

p. 49

就学前児童の子育て支援施設を利用している理由

では74.4パーセントが【身近な地域で実施しているため】とあります。

またp.2によると、アンケート全体にしめる西条地区からの規制標本数は54.2%で過半数を上回ります。

西条地区の誰もが利用しやすい場所はもちろん各バスの終着である西条駅ですので、西条駅徒歩圏内から3歳児～5歳児の利用可能な施設を無くすことで、東広

島の子育て支援センターを利用したい3歳児～5歳児を持つ家庭の54.パーセントが利用したくてもできなくなる、もしくは利用しにくくなる、という可能性が考えられ、利用数が減ることは明白でしょう。

## 理由 2

p.47 の

【子育て支援センターの利用状況（就学前児童・年齢別）】

によると3歳児～5歳児の子育て支援センターを利用していない層は93.6%です。

p51 の

【子育て支援センターの利用希望（就学前児童・教育・保育事業の利用状況別）】

では、3歳児～5歳児を持つ家庭の現在利用していない層で、「今後利用したい・利用回数を増やしたい」と回答した家庭の割合は18.2%です。

西条駅徒歩圏内から3歳児～5歳児の利用可能な施設を無くしてしまうと、そのポテンシャルユーザーを大幅に減らしてしまうことが予想されます。

## 理由 3

p103 の 7 子育て支援センターの利用状況・意向についてのまとめでは

”利用していない理由は、利用の必要がない場合を除くと、「利用可能時間・日数などが合わない」、「いっしょに利用する仲間がない」、「実施場所や利用方法がわからない」、「事業を知らない」という、改善を図ることにより利用につながる回答もあがっている”

とのことなので、今後の周知や取り組み次第でユーザーの増える可能性は大きいです。また、

”子育て支援センターを利用している家庭では、公的な相談窓口への評価、子育てに関する情報入手への評価が高くなっている”

という事もあり、西条駅からの徒歩圏内に子育て支援の総合的な施設を建設することが、住民や東広島市にとって重要だと考えています。

【結論・お願い】

新たな総合的な子育て支援施設の支援範囲に3歳児—小学生も含んでいただき、また、場所は西条駅からの徒歩圏内をお願いします。駐車場の設備は充実できなくても致し方なく思います。

以上